

## 子どものためのアンケート（2回目）結果のお知らせ

保護者の皆様にはお忙しい中、「子どものためのアンケート」（12月実施）にご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見、保護者の皆様や子どもへのアンケートの結果、教職員の自己評価をふまえ、これからも保護者・地域の皆様と共に力を合わせて錦林小学校の教育活動をよりよいものにしていきたいと考えております。今回は7月に実施した学校評価の結果と比較から見えてくる成果と課題を明らかにし、本校の日ごろの取組を見直すとともに、今後の取組に生かしてまいります。遅くなりましたが、結果の概要をお知らせいたします。

### 【アンケート方法】

それぞれの質問の項目について、子ども・保護者・教職員の立場で回答できるようにしています。質問の文言は多少異なりますが、同じことがらについて、3者（子ども・保護者・教職員）の意識におけるずれの有無がわかるようにするためです。質問に対して実現度を5段階（A：よくできている B：大体できている C：あまりできていない D：できていない E：わからない）で尋ねる形式です。今回の結果は「A：よくできている B：大体できている」を合わせた数値を実現度として表記しております。

### 【以下、アンケート結果より】

| ①学校では一人一人が大切にされているか |     | 1回目   | 2回目   |
|---------------------|-----|-------|-------|
|                     | 子ども | 90.3% | 92.1% |
|                     | 保護者 | 86.7% | 89.9% |
|                     | 教職員 | 100%  | 100%  |

子どもが2ポイント、保護者が3ポイント増という結果になりました。1学期よりもさらに多くの子どもが「自分は大切にされている存在なのだ」という安心感をもって学校生活を過ごせていることが分かります。また、保護者の皆様にも概ね、様々な制限がある中での今年度の学校教育活動の中で、一人一人の子どもたちが大切にされて日々を過ごすことができていると評価をいただいています。京都市学校教育の基本理念となっており、大変重要度の高い項目です。子ども・保護者ともに「一人一人が大切にされている」という回答が100%になるよう、今後の課題として校内で共有し、次年度につなげていきます。

| ②授業がわかりやすいか |     | 1回目   | 2回目   |
|-------------|-----|-------|-------|
|             | 子ども | 92.7% | 91.4% |
|             | 保護者 | 84.6% | 87.7% |
|             | 教職員 | 100%  | 100%  |

子どもは、1回目と比べ1ポイント減となっていますが、概ね「授業が分かりやすい」と肯定的に回答していました。どの学年も学習が進むにしたがって学習内容が増え、1学期に比べ「学習がむずかしくなった」と感じている子どもが少なからずいたのかと思われます。保護者の皆様は、肯定的に回答している割合が3ポイント増となりました。6月の学校再開直後は学校生活はもちろん、学習面でも不安を感じられる方も多かったのではないのでしょうか。感染症対策を行いながらの教育活動となり、言葉や表情でコミュニケーションをとっていくこと自体も制限がある状況下でしたが、子どもたちは落ち着いて学習に向かうことができていました。また、教職員一同、限られた時間の中でどの子どもにも学習内容の定着が図れるよう、どの学習でも「自分で考えて、決めて、実行する」時間を取り入れた授業づくりの工夫を重ねています。今後どうすればさらに「全員に届く授業」になるのか研修を進め、一人一人に応じた支援をおこない、授業改善を進めたいです。

今年度は臨時休校の影響もあり、1時間単位当たりの授業時間が45分から40分に短縮されています。1時間当たりでは5分ですが、例年に比較すると、学校での学習時間は短くなっています。学習内容をより定着させていくために、家庭学習を習慣化すること、学校での学習と家庭学習の内容を連動させていくこと、自学自習をおこなっていく力を身に付けていくことはたいへん重要だと考えています。引き続き、家庭・地域・学校が一体となって子どもの学びを後押しできるよう、ご協力をお願いいたします。

| ③自分のよいところと言えるか |     | 1回目   | 2回目   |
|----------------|-----|-------|-------|
|                | 子ども | 69.1% | 66.4% |
|                | 保護者 | 82.4% | 81.0% |
|                | 教職員 | 100%  | 100%  |

子どもには「じぶんのよいところがいえる」、保護者・教職員には「子どものよさを認め、ほめている」というように質問しています。1回目よりも肯定的に回答している子どもが減少し、他の質問項目に比べて比較的少ない結果でした。コロナ禍において、多くの制限を受けながらも、学校に登校し、学びをすすめる子どもは大人から見ても、たいへんがんばっていると言えます。このような状況下でも落ち着いて学習に取り組み、学校生活を送れていることを「普通のこと」と子どもは思っているのかもしれませんが。保護者・教職員の結果からは、子どもが自分のことを肯定的に捉えられるようにするために、積極的にほめることは意識できているようです。周囲からの励ましに加え、子ども自身がいま「普通のこと」として捉えている自分のよさやがんばりを、子ども自身が認知できるようにしていくことも大切にしながら指導をすすめていきたいと思います。

| ④家庭で時間を守って生活できているか |     | 1 回目  | 2 回目  |
|--------------------|-----|-------|-------|
|                    | 子ども | 77.5% | 74.4% |
|                    | 保護者 | 69.9% | 73.3% |
|                    | 教職員 | 61.8% | 72.0% |

保護者は3ポイント、教職員は10ポイント増加しています。臨時休校中に比べ、学校生活がスタートしたことで、多くの子ども・保護者・教職員が少しずつ生活リズムを整えていった結果と考えられます。子どもが1回目に比べ3ポイント減少していますが、中には、学校生活が始まったことでしなければならないことが増え、帰宅してから忙しさを感じてしまっている子どももいるのかと考えられます。

時間を守るということは、守るべき時間があるということです。「この時間までに〇〇をする」「△△するためにどれくらい時間がかかりそうかな」等、時間を意識して生活ができるよう、学校では様々な場面で声をかけたり、子ども自身が考えたりできるように指導しています。ご家庭でも発達段階やお子達の様子に応じて、時間管理ができる力を身に付けられるよう、ご支援をよろしくお願いいたします。

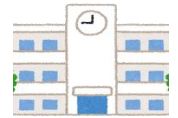
| ⑤将来の夢や「なりたい自分」を目指して努力しているか |     | 1 回目  | 2 回目  |
|----------------------------|-----|-------|-------|
|                            | 子ども | 87.5% | 84.3% |
|                            | 保護者 | 57.2% | 61.8% |
|                            | 教職員 | 85.3% | 83.3% |

平成30年度から継続して学校教育目標と関連して示している目指す子どもの姿「なりたい自分を目指してがんばる子【考える・決める・実行する】」の実現度を問う質問です。

子ども・教職員の回答の傾向はほぼ同じですが、保護者の回答とは20ポイントを超える大きな開きがあります。この質問は、前述した【質問③自分のよいところが言えるか】と大きく関わる質問であると言えます。子どもは「なりたい自分」を目指して努力していると肯定的に回答している割合が約85%ですが、そのがんばりを「自分のよいところ」と認識している子どもは約65%にとどまっています。逆に保護者は、「子どものよさを認め、ほめている」と回答している割合は80%を超えていますが、「なりたい自分」を目指して努力していると肯定的に回答している割合は60%程度になっています。教職員にも保護者と同様の傾向があるといえます。

錦林小学校には、自分自身で決めた目標（夢・なりたい自分）に向かって努力している子どもがたくさんいます。今後も、子どもが何を努力し、何に不安を感じているのかを周りの大人が適切に見取り、そのがんばり（考え、決め、実行していること）を認め、支えていくことが、次の活動への意欲やがんばりにつながったり、子ども自身が「自分のよさ」として認知したりしていくのではないのでしょうか。

## 【保護者アンケート（ご意見・ご感想の記入欄）より】



### ●予期できない臨時休校等が生じた際の学びの継続について

今年度は日本中の学校が新型コロナウイルス感染症により、長期休業せざるを得ない状況になりました。自宅で学習する子どもたちにプリント等の課題と併用して、オンラインで学習を進められるように、子ども一人一台の端末、それに伴う高速大容量の通信ネットワーク等が本校でも整えられつつあります。（「GIGA スクール構想」と呼ばれています）

GIGA は、「global and Innovation Gateway for all（全ての人（子ども）にグローバルで革新的な入口を）」の略称です。その中の「すべての子ども」がとても重要です。どの子どもも公平に学習が進められるよう、とりわけ一人一人の子どもを徹底的に大切にするという視点に焦点を当て、教職員が校内で効果的な活用について研修を行ったり、子どもたちが家庭にパソコンを持ち帰るときのことを想定して、各学年の実態に応じて学習の中で子どもがパソコンを使用していくことを行ったりしています。今後、家庭での使用について保護者の皆様とも連携を図ることが想定されます。ご協力をよろしくお願いいたします。

### ●次年度の学びや学校行事・宿泊行事について

今年度は2か月間の休校の学習の遅れを取り戻すため、1授業時間単位を40分に短縮し、学年によっては7時間授業を実施しました。本校では7時間授業になっても、従来の下校時刻を大きく変更することのないように時間割を編成していました。しかし、短縮授業・7時間授業で慌たしさを感じていた子どもも少なからずいたようです。次年度からは、従来の時程（45分授業・6時間）に戻して行う予定です。

現時点で次年度の4年生の宿泊学習「みさきの家」の中止が全市的に決定していますが、その他の学校行事や宿泊行事に関しましては、感染症対策を講じ、実施形態を工夫しながら、可能な限り取り組む予定です。子どもたちの主体性を育て、他者と協働することの大切さを実感できる機会を、できるだけ多く設定していきたいと考えています。

### 【ご感想】

- ・たくさんのことを学校で学び、子どもの成長を感じます。子ども1人1人に気を配り、教育を進めてくださり、学校・先生方に感謝いたします。
- ・11月に授業参観ができ1年生からの大きな成長を実感できました。
- ・コロナの影響でイベントが減ったためか、将来こうなりたい！といった夢を語ることが減ったように思います。その日その日の遊ぶことには夢中ですが、自分がどうなりたいのか問うと「うーん・・・」と方向性が見えません。大人が日々に精一杯になりすぎたな・・・と反省の毎日です。
- ・学校では委員会活動もクラブ活動もとても楽しく通っております。学校生活が楽しいことは、生活の基となりますので、大変ありがたく思っております。

